

## 第2次平戸市総合計画 基本構想案 新旧対照表

ページ	修正後	修正前	備考
プロ ロ ー グ	<p>( _____ 藤浦洗「海の中の故郷」より)</p> <p>エキゾチックな雰囲気が、潮風の香りとともに歴史と文化、自然を感じさせてくれるまち平戸…</p> <p>古くから平戸では、海外貿易が盛んに行われ、中国や朝鮮と深いつながり<u>をもち</u>、 _____ 奈良、平安時代には遣唐使船の寄港地として、多くの若者が夢とロマンを胸に往来していました。また、1550年にはポルトガル船が入港して貿易がはじまり、 _____ これを契機に栄えて「西の都」と呼ばれ、 _____ _オランダやイギリスなどヨーロッパの国々の船が行きかう国際貿易港となりました。</p> <p>そして、縄文・弥生時代からの遺跡が点在する田平、江戸時代からの町並みが残る大島、日本一の鯨組を築き上げた漁師まちである生月、これら多彩な歴史に富んだ地域がひとつになり平戸が形成されました。</p> <p>私たちのまちは、常に新しいものを受け入れ、平戸ならではの文化を創造し続けています。 <u>また</u>、</p>	<p>(平戸出身の作詞家 藤浦洗「海の中の故郷」より)</p> <p>エキゾチックな雰囲気が、潮風の香りとともに歴史と文化、自然を感じさせてくれるまち平戸…</p> <p>古くから平戸では、海外貿易が盛んに行われ、中国や朝鮮と深いつながり<u>がありました</u>。奈良、平安時代には遣唐使船の寄港地として、多くの若者が夢とロマンを胸に往来していました。また、1550年にはポルトガル船が入港し、<u>貿易がはじまりました</u>。 これを契機に栄えて「西の都」と呼ばれるようになり、<u>オランダやイギリスなどヨーロッパの国々の船が行きかう国際貿易港となりました</u>。</p> <p>そして、縄文・弥生時代からの遺跡が点在する田平、江戸時代からの町並みが残る大島、日本一の鯨組を築き上げた漁師まちである生月、これら多彩な歴史に富んだ地域がひとつになり平戸が形成されました。</p> <p>私たちのまちは、常に新しいものを受け入れ、平戸ならではの文化を<u>創造し続けてきました</u>。<u>また</u>、</p>	<p>「平戸出身の作詞家」は、注釈に記入。</p> <p>「…ました」が多いため調整。</p>

## 第2次平戸市総合計画 基本構想案 新旧対照表

ページ	修正後	修正前	備考
	<p>俳人の種田山頭火は、島の美しい自然に感激し「平戸は日本の公園である」と句を詠むなど、<u>その特色ある歴史と文化、自然はやがて平戸の「宝」となり、代々この地に暮らす人の心に染み渡り、受け継がれ、いま、私たちの誇りの源となっています。</u></p>	<p>俳人の種田山頭火は、島の美しい自然に感激し「平戸は日本の公園である」と句を詠みました。<u>その特色ある歴史と文化、自然はやがて平戸の「宝」となり、代々この地に暮らす人の心に染み渡り、受け継がれ、いま、私たちの誇りの源となっています。</u></p>	
1	<p>10年後の未来を想像してみてください。</p> <p>私たちはどう生きているのでしょうか？ 夢は叶っているのでしょうか？</p> <p>私たちが住んでいる平戸はどのようなまちになっていて、私たちはどう暮らしているのでしょうか？</p> <p>代々、平戸で暮らしてきた人々は、優しく、大きな海に抱かれながら、この地で様々な夢を描いてきました。そしていまを生きる私たちも、それぞれの夢を思いながら暮らしています。その夢を叶えるため、新しい「まちづくり未来図」を描きます。</p> <p>「まちづくり未来図」では、<u>これまでの航海を振り返りながら、「未来」という大海原での荒波を乗</u></p>	<p>10年後の未来を想像してみてください。</p> <p>私たちはどう生きているのでしょうか？ 夢は叶っているのでしょうか？</p> <p>私たちが住んでいる平戸はどのようなまちになっていて、私たちはどう暮らしているのでしょうか？</p> <p>代々、平戸で暮らしてきた人々は、優しく、大きな海に抱かれながら、この地で様々な夢を描いてきました。そしていまを生きる私たちも、それぞれの夢を思いながら暮らしています。その夢を叶えるため、新しい「まちづくり未来図」を描きます。</p> <p>「まちづくり未来図」では、 _____</p>	<p>2ページに現状認識、危機意識を言及するため、その前段としての文言を追加。</p>

## 第2次平戸市総合計画 基本構想案 新旧対照表

ページ	修正後	修正前	備考
	<p><u>り越え、たしかな平戸を実現するために、私たちの進むべき針路を見定めます。</u></p>	<p><u>たしかな未来を実現するための誓いをたて、私たちの進むべき針路を見定めます。</u></p>	
2	<p><u>平成 17 年の市町村合併後に策定された「第 1 次平戸市総合計画」では、目指すべきまちの将来像として「ひと（H I T O）響きあう 宝島 平戸」を掲げ、「やらんば！平戸」を合言葉にまちづくりを進めてきました。</u></p> <p><u>「第 1 次平戸市総合計画」での 10 年間、目標を達成したり成功を収めた取り組みがありますが、新たな挑戦を躊躇し、次の変革につなげられなかったことがありました。</u></p> <p><u>また、現在の平戸市は、若者の都市部への流出による人口減少・少子高齢化の波に飲まれようとしており、そのことが地域コミュニティやまちのにぎわい、産業振興などにも影響を及ぼしています。</u></p> <p><u>まだ見ぬ新たな困難が、今後現れることも想定されます。「今が良ければ」「自分が良ければ」では、平戸市は時代の波とともに消えてしまいかねないのです。</u></p>	<p><u>このまちに暮らす人々は、常に新しいものを受け入れ、挑戦し続けてきました。それらの挑戦が、いまの平戸市ならではの歴史・郷土文化を形づくってきました。</u></p> <p><u>その挑戦し続ける姿勢は、いつしかこのまちの誇りとなり、いまでも私たちに脈々と受け継がれています。</u></p> <p><u>夢にあふれ、笑顔にあふれ、幸せがあふれる豊かなまち。</u></p> <p><u>平戸市の新しいまちづくりへの夢はたくさんあります。</u></p> <p><u>市民の思い描く夢を実現できるまちを目指し、世代や地域を超えて手をつなぐことで魅力あふれたまちづくりを実現します。</u></p> <p><u>私たちは、先人から受け継がれてきた歴史・文化を「宝」とし、未来へと駆け上がります。なぜなら、</u></p>	<p>ストーリー調ではなく、危機的状況等を強く表すため全面的に修正。</p>

## 第2次平戸市総合計画 基本構想案 新旧対照表

ページ	修正後	修正前	備考
	<p><u>私たち一人ひとりには、次世代を担う子ども達が、夢を持って未来を描くことができる平戸市をつくる責務があります。その覚悟と決意を持ち、私たちの郷土に誇り（シビックプライド）を持ち、「夢あふれる 未来のまち 平戸」を将来像として掲げ、新たなまちづくりに挑んでいきます。</u></p>	<p><u>ここに生きる私たち一人ひとりがこのまちの未来を創る主人公だからです。</u></p> <p><u>誇り（シビックプライド）を胸に、「絆」という強固な力をもって、10年後の「夢あふれる 未来のまち 平戸」を私たち一人ひとりの手で創りあげていきましょう。</u></p> <p><u>やるばい！平戸！</u> <u>私たちはこのまちを愛してやまないのだから…</u></p>	
3	<p><u>「夢」という言葉は様々な場面で使われますが、平戸市にあっては市民の今と未来を明るく照らす言葉であってほしいと願っています。</u></p> <p><u>平戸市がもつ「歴史」「恵み」「祈り」をさらに輝かせることでシビックプライドにつなげ、全ての平戸市民の様々な想いを叶えることができる「唯一の夢のようなまち」となるように、という願いを込めました。</u></p>	<p><u>子どもから高齢者まで様々な夢を描くことができるまちをつくります。</u></p> <p><u>私たち市民一人ひとりの夢が平戸市の大きな夢となり笑顔があふれるよう、みんなで団結（地域コミュニティ）し、宝（歴史・文化・自然）を活かした誇り（シビックプライド）を持てるまちを目指します。</u></p>	2ページを修正したことによる見直し。
3	<p><u>市民のあふれる夢を実現し、次世代につなげるには、これまでの粋や成功にとらわれず、挑戦し続け</u></p>	<p><u>夢を実現できる「未来のまち」を創造するためには、市民自らできることは自ら行い、自分たちの地域は自ら創っていくという心がけが欠かせません。</u></p>	2ページを修正したことによる

## 第2次平戸市総合計画 基本構想案 新旧対照表

ページ	修正後	修正前	備考
	<p>ていく姿勢が大事です。</p> <p><u>他のどこの地域にもない「平戸らしさ」を磨き上げ、全ての市民が明るく元気に活躍する未来を描いていけるように、という願いを込めました。</u></p>	<p><u>市民一人ひとりが平戸市のために何ができるかを考え、行動することで未来の平戸市を創ることができます。</u></p> <p><u>未来に生きる私たちが「ここに生まれてよかった」と思うことができるまちを創造するため、「宝」を未来に残し、伝え、輝かせ、選ばれ続ける未来都市を目指します。</u></p>	見直し。
6	<p>第2章 未来へのチャレンジ</p> <p><u>第1章で掲げた未来像「夢あふれる 未来のまち平戸」を実現するため、3つの具体的な方向性を示します。</u></p>	第2章 未来へのチャレンジ	章の説明文を追加。
6①	<p>平戸市では、これまで市民にとって身近な問題を家族や隣近所、あるいは<u>地域コミュニティや行政サービスにより対応してきました。</u></p> <p><u>しかし、社会が成熟し、価値観が変化する中で、少子高齢化や都市圏への人口流出、核家族化などが進み、地域コミュニティが希薄になってきました。</u></p> <p><u>こうした状況にきめ細やかに対応するには、行政主導の力だけでは十分とは言えません。市民一人ひとりが新しいまちづくりの方法を知り、参加することが必要不可欠です。</u></p>	<p>平戸市では、これまで市民にとって身近な問題を家族や隣近所、あるいは<u>自治会などの多様なコミュニティが関わることで解決してきました。</u></p> <p><u>しかし、社会が成熟し、平戸市に住む人々の暮らしも多様化しています。少子高齢化や都市圏への人口流出、核家族化などの問題で地域コミュニティに参加する人が減っています。こうした状況にきめ細やかに対応するには、これまでの行政主導の力だけでは十分とは言えません。市民一人ひとりが新しいまちづくりの方法を知り、参加することが必要不可欠です。</u></p>	文言の修正。

## 第2次平戸市総合計画 基本構想案 新旧対照表

ページ	修正後	修正前	備考
	<p><u>市民がやれることを率先して行い、行政とともに手を取り合ってまちづくりを進めることで、「ずっと住み続けたいと思える平戸市」を目指します。</u></p>	<p><u>ずっと住み続けたい平戸市を創造していくために、市民がやれることを率先して行い、行政とともに手を取り合ってまちづくりを進めます。</u></p>	
6②	<p>平戸市は時代とともに多くの異国文化を受け入れ、独自の歴史と文化を生み出し続けてきました。その歴史と文化はやがて「宝」となり、<u>平戸市ににぎわいをもたらしました。しかし、時代の変遷とともにその輝きは失われつつあります。</u></p> <p>今後は、交通インフラの整備に伴う交流人口の拡大が予想されることから、平戸市の「宝」にさらなる磨きをかけ観光振興を図るとともに、農林水産業をはじめとした第一次産業、商工業の活性化に向けた取り組みを促進します。また、積極的な企業誘致を行い、特産品の販路拡大に力を入れ、市民が一体となってにぎわいのあるまちを<u>目指します。</u></p>	<p>平戸市は時代とともに多くの異国文化を受け入れ、独自の歴史と文化を生み出し続けてきました。その歴史と文化はやがて<u>平戸市の「宝」となり、訪れる人々にやすらぎと癒しを与え続けてきました。</u></p> <p>今後は、交通インフラの整備に伴う交流人口の拡大が予想されることから、平戸市の「宝」にさらなる磨きをかけ観光振興を図るとともに、農林水産業をはじめとした第一次産業、商工業の活性化に向けた取り組みを促進します。また、積極的な企業誘致を行い、特産品の販路拡大に力を入れ、市民が一体となってにぎわいのあるまちを<u>創出します。</u></p>	<p>文言の修正。</p>
6③	<p>平戸市の人口減少を抑制するためには、市民がいつまでも「住み続けたい」、一旦離れても「また帰って来たい」と思えるよう、平戸市に対する愛着や誇りを育てていくことが重要です。また、<u>都市部には無い平戸市独自の価値を見だし、訪れる人々</u></p>	<p>平戸市の人口減少を抑制するためには、市民がいつまでも「住み続けたい」、一旦離れても「また帰って来たい」と思えるよう、平戸市に対する愛着や誇りを育てていくことが重要です。また、<u>訪れる人々</u></p>	<p>文言の修正。</p>

## 第2次平戸市総合計画 基本構想案 新旧対照表

ページ	修正後	修正前	備考
	<p>が「住んでみたい」と思えるような魅力的なまちづくりも必要です。</p> <p>まちづくりの主役は市民一人ひとりです。そこで、それぞれの地域の特性を活かした学びの機会や、平戸市独自の歴史や文化などに触れる機会を創出し、「みんなで手を取り合い、にぎわいをつくり、誇りを持てるまち」を<u>目指します。</u></p>	<p>が「住んでみたい」と思えるような魅力的なまちづくりも必要です。</p> <p>まちづくりの主役は市民一人ひとりです。そこで、それぞれの地域の特性を活かした学びの機会や、平戸市独自の歴史や文化などに触れる機会を創出し、「みんなで手を取り合い、にぎわいをつくり、誇りを持てるまち」を<u>創造します。</u></p>	
7	<p>「平戸市未来創造羅針盤」を策定するにあたり、平戸市のまちづくりにおける市民の意向を把握するためアンケート調査を実施しました。</p> <p><u>市民の意見を整理し、本計画の未来像実現のため、新たな取り組みにつなげていきます。</u></p>	<p>「平戸市未来創造羅針盤」を策定するにあたり、平戸市のまちづくりにおける市民の意向を把握するためアンケート調査を実施しました。</p> <p><u>施策の重要度が高くなっている項目は、「緊急医療体制」「医療施設の整備」などの医療分野と「企業誘致、雇用、就業対策」の産業振興・雇用対策の項目が高くなっています。本計画の未来実現のためには、これらの取り組みを優先的に行っていく必要があります。</u></p>	文言の修正。
9	<p>第4章 未来への5つのポイント</p> <p><u>平戸市を取り巻く社会情勢や市民アンケートを踏まえ、未来像を実現するために5つの主要課題に取り組みます。</u></p>	<p>第4章 未来への5つのポイント</p>	章の説明文を追加。

第2次平戸市総合計画 基本構想案 新旧対照表

ページ	修正後	修正前	備考
9	(1) <u>未来の羅針盤となる人をつくる</u>	(1) <u>「人」を磨く</u>	文言の修正。
9	平成27(2015)年では31,920人_____と確実に人口減少が進んでいます。	平成27(2015)年では31,920人 <u>(平成27(2015)年国勢調査)</u> と確実に人口減少が進んでいます。	文言の修正。
9	(2) <u>まちの灯台を灯す絆を紡ぐ</u>	(2) <u>「絆」を深める</u>	文言の修正。
10	(3) <u>魅力を描いた帆をあげる</u>	(3) <u>「魅力」を輝かせる</u>	文言の修正。
10	(4) <u>強く漕ぎだす産業をつくる</u>	(4) <u>「産業」を高める</u>	文言の修正。
10	(5) <u>自ら経営の舵を切る</u>	(5) <u>「経営」を工夫する</u>	文言の修正。
13	<u>私たちは見定めた針路へ、旅立つ準備はできているでしょうか。</u>	<u>新たな平戸の未来を創造するためには、先人たちが、歴史・文化・自然を平戸独自の「宝」としてき</u>	文言の修正。



## 第2次平戸市総合計画 基本構想案 新旧対照表

ページ	修正後	修正前	備考
	<p><u>平戸には先人たちから受け継いできた美しい自然、海外に飛躍してきた雄大な歴史、人々が愛しみ育んできた文化という平戸独自の「宝」があります。</u></p> <p><u>私たちはこの「宝」を大切に守り伝えてきました。</u></p> <p><u>しかし、未来への航海は決して穏やかではありません。夢あふれるまちへ帆を進めるには、守るだけでなく、この「宝」に磨きをかけ、今までにない輝きを魅せる必要があります。</u></p> <p><u>私たちはこの地で生きてきた誇りと絆があります。手を取り、知恵を絞り、変化をもたらす勇気を携えて、私たちの描く未来を実現させましょう。</u></p> <p><u>そして、この輝きを受け継ぐ人々もまた新たな平戸の「宝」となることでしょう。</u></p> <p><u>ここに描く「まちづくり設計図」を胸に、未知なる航海へ強い誇りを持ち旅立ちましょう。</u></p>	<p><u>たように、私たちもその「宝」を磨き、さらに輝かせていくことが大切です。</u></p> <p><u>平戸の「宝」、それは美しい自然、海外に飛躍してきた雄大な歴史、人々が愛しみ育ててきた文化であり、なによりこのまちに暮らす人々です。</u></p> <p><u>その「宝」を守り残すとともに、知り、磨き、輝かせることで改めて、「宝」の本当の価値を見出すことができるのではないのでしょうか？</u></p> <p><u>私たちにはいったい何ができるのか。何をしなければならないのか。まずは、いまの平戸を見つめ、考えることから始めましょう。</u></p> <p><u>みんなで手を取り合い、知恵を絞れば、私たちが描いた未来図を形あるものにすることができると信じています。</u></p> <p><u>ここに描く「まちづくり設計図」により、私たちの「宝」を光り輝かせ、誇りを胸に歩いていきましょう。</u></p>	
14	第1章 平戸市の構図	第1章 平戸市の構図	章の説明文を追

第2次平戸市総合計画 基本構想案 新旧対照表

ページ	修正後	修正前	備考
	<p><u>本計画を策定するにあたり、平戸市の地勢や年表、観光資源などの地域特性を活かし、市民の誇れる平戸市を創出します。また、人口や財政状況などの現状を把握し、取り組みへ反映していきます。</u></p>		<p>加。</p>
<p>16 田平天 主堂</p>	<p><u>ロマネスク様式の赤レンガづくりの教会で鉄川与助の代表作といわれています。</u></p>	<p><u>教会からは平戸瀬戸とそこに架かる平戸大橋が望めます。</u></p>	<p>文言の修正。</p>
<p>16 あご (トビウオ)</p>	<p><u>あごは秋に船曳網漁で漁獲される平戸の代表的な魚で、主に加工用の原料(焼きあご)として利用されています。</u></p>	<p><u>あご(トビウオ)は平戸を代表する魚。近年、全国的なアゴだしブームにより、需要が高まっています。</u></p>	<p>文言の修正。</p>

## 第2次平戸市総合計画 基本構想案 新旧対照表

ページ	修正後	修正前	備考
20	<p>「平戸市総合戦略」により、人口減少が緩やかに なるという展望ですが、施策の進捗によっては推計 を下回る可能性があり、予断を許さない状況にあり ます。</p> <p>人口減少は、産業・経済の衰退や財政の縮小に直 結することから、常に危機感を持ち、今後も市民・ 行政が一体となって知恵を絞り、新たな施策を見い だし、失敗を恐れずチャレンジしていかなくてはな りません。</p>	<p>平戸市では、人口減少、少子高齢化が急速に進行 していることから、今後、労働力人口の減少や経済 規模の縮小など、地方財政に大きな影響を及ぼすこ とが懸念されます。</p> <p>人口ビジョンで掲げた平戸市総人口の目標値を 実現するため、人口規模が縮小する中で、いまある 様々な資源を十分に活かしたり、人材を中心とした 新たな資源を掘り起こしていくことが必要となっ てきます。</p>	<p>文言の修正。</p>
21	<p>第2章 平戸市のデザイン</p> <p>平戸市のデザインでは、本計画である「平戸市未 来創造羅針盤」を策定する目的、計画の構成、期間 を示しています。</p>	<p>第2章 平戸市のデザイン</p>	<p>章の説明文を追 加。</p>
21	<p>「平戸市総合計画」策定から10年が経過する中 で、少子高齢化による本格的な人口減少、国内での 大規模な自然災害を契機とした市民の防災への意 識の変化など私たちを取り巻く環境は急速に変化 しています。また、 近年の情報通信技術の発達は、生活 の利便性や産業の生産性の向上とともに、人と人の</p>	<p>「平戸市総合計画」策定から10年が経過する中 で、少子高齢化による本格的な人口減少、東日本大 震災や熊本地震を契機とした市民の防災への意 識の変化など私たちを取り巻く環境は急速に変化 しています。また、スマートフォンやインターネッ トの普及など、近年の情報通信技術の発達は、生活 の利便性や産業の生産性の向上とともに、人と人の</p>	

## 第2次平戸市総合計画 基本構想案 新旧対照表

ページ	修正後	修正前	備考
	つながり方など、私たちの生活に大きな変化を与えています。	つながり方など、私たちの生活に大きな変化を与えています。	
24	<p>第3章 みんなでやるばいプロジェクト</p> <p><u>本計画に掲げた未来像や主要課題を踏まえ、施策を体系的に整理し、平戸市全体の計画である「まちづくりプロジェクト」と市内の7つの地域ごとの「地域づくりプロジェクト」を掲げます。</u></p>	第3章 みんなでやるばいプロジェクト	章の説明文を追加。
24	<u>まちづくりプロジェクト</u> では、10年後の平戸市の未来像を実現するため、市民と行政が一体となり、強い覚悟をもって、共通プロジェクトと6つの基本プロジェクトを中心にあらゆる取り組みを行っていきます。	<u>平戸市未来創造羅針盤</u> では、10年後の平戸市の未来像を実現するため、市民と行政が一体となり、強い覚悟をもって、共通プロジェクトと6つの基本プロジェクトを中心にあらゆる取り組みを行っていきます。	文言の修正。
27	平戸市では結婚、妊娠、出産、育児といったそれぞれの段階ごとに切れ目のない支援を行い、地域で子育てを支える仕組みをつくり、若い世代から出	平戸市では結婚、妊娠、出産、育児といったそれぞれの段階ごとに切れ目のない支援を行い、地域で子育てを支える仕組みをつくり、若い世代から出	文言の修正。

## 第2次平戸市総合計画 基本構想案 新旧対照表

ページ	修正後	修正前	備考
	産・育児を平戸市でしたいと思われるまちを目指します。また、恵まれた自然環境のもとで伸び伸びと子育てができる環境づくりに努めるとともに、共生社会の基盤となる <u>人権感覚と人権意識を育み</u> 、次代を担う子どもたちが、自ら行動する力を身につけることのできる教育を推進します。	産・育児を平戸市でしたいと思われるまちを目指します。また、恵まれた自然環境のもとで伸び伸びと子育てができる環境づくりに努めるとともに、共生社会の基盤となる <u>人権感覚</u> _____ を育み、次代を担う子どもたちが、自ら行動する力を身につけることのできる教育を推進します。	
28	市民の健康づくりや生きがいづくり活動を促進するとともに、保健・医療体制、各種福祉の充実を図ります。また、地域で高齢者や障がいのある人、子ども等を見守り、支えることができる環境を整備し、住民主体または地域主体の____福祉活動の活性化を図ることで、 <u>地域共生社会の構築を目指します。</u>	市民の健康づくりや生きがいづくり活動を促進するとともに、保健・医療体制、各種福祉の充実を図ります。また、地域で高齢者や障がいのある人、子ども等を見守り、支えることができる環境を整備し、住民主体または地域主体の <u>地域福祉活動の活性化を図ることで誰もが安心して暮らせるまちを構築します。</u>	文言の修正。